



インターネットとの向き合い方

生徒指導主事 高島 絃司

インターネットは、今や生活に欠かせないものとなっています。また、現在のコロナ禍での生活では、思うように外へ出ることが難しく、家庭ではインターネットを使うことも増えているはずです。子供たちにとって、インターネットは以前よりも確実に身近に感じられるようになってきているはずです。その反面、「ネット依存」といった問題も取り上げられる世の中となっています。

では、子供たちはどのようなことに気を付けてインターネットと向き合っていかなければならないのでしょうか。私の考えを3つ紹介したいと思います。

1つ目は、よりよい生活を送るために上手に活用することです。学習で分からないことを調べたり、自分の考えの根拠となる情報を集めたりして、自分の力を高めるために効果的に活用してほしいと思います。また、学習だけではなく、楽しく生活を送るためにも活用することができます。

2つ目は、インターネットの中でも思いやりの気持ちをもって人と接することです。子供たちは、ネットゲームやSNSを通じてコミュニケーションをとる機会が増えてきたと思います。しかし、何気ない言葉で人を傷つけることや返信を怠ったことによるトラブル等、目の前に相手がない状態でのコミュニケーションには危険なこともあります。人と接することには変わりがないことなので、今まで以上にトラブルがないように、思いやりを大切にした言動に心がけてほしいと思います。

3つ目は、節度ある使い方をすることです。子供たちの中には、平日でも3時間以上インターネットを使っている子供がいて、日々の会話等から窺えます。休日となるともっと長時間使っている子供がいるのではないのでしょうか。過去の全国学力・学習状況調査では、「インターネットを全く使わない子供よりも、使用時間が1時間以内の子供が最も学力が向上している」というデータがありました。つまり、しっかりと1時間以内で自分を律することができることが大切だということです。私は、子供たちに自分自身で時間を意識する強い意志をもった人間になってほしいと思っています。

子供たちはまだまだ成長段階で、これらの3点を自分自身で意識することが難しいです。やはり、保護者や家族の方の協力が必要です。子供たちが、インターネットと上手に付き合いながら、未来を切り開く人間になれるよう、ご家庭でもご協力をお願いいたします。



裏面もご覧ください！

2月になり、いよいよ「6年生を送る会」が近づいてきました。この会は5年生にとって、特別な集会です。これまで学校を引っ張ってきた6年生を送り出すために、5年生が中心になって下級生をまとめ、準備、進行していく会で、最高学年へ始まりの行事でもあるのです。

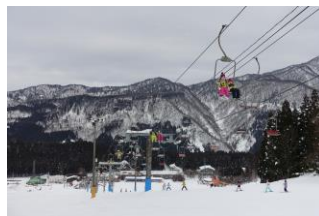
5年生は、1月中旬から準備を始めました。①プロジェクトリーダー ②音楽 ③飾り ④プログラム・招待状 ⑤幕間 と5つの係に分かれ、進めています。「6年生へのアンケートは早くつくったらいいんじゃない?」「お昼の放送で知らせたらいいよね」「明日のお昼に集まろう」等、自分たちで相談し、張り切って活動しています。

総合的な学習の時間を中心に活動し、毎時間の最後には全員が集まって、各係からの活動報告を聞きます。「今日は、〇な活動をしました。」「次は〇します。」各係のリーダーが報告していきます。その顔は、どこか晴れがましく輝いています。発表するリーダー、見守る子供たち、みんなが頼もしくみえます。

22日に向けて、5年生みんなが心を合わせ、準備していきます。この会をみんなで成功させることで、きっとまた1つ最高学年への階段を上ることができるでしょう。当日が楽しみです。



スキー学習会（3～6年生）



中学年は1月26日（水）らいちょうバレースキー場、高学年は2月1日（火）極楽坂スキー場にていずれも天候に恵まれ、たっぷり練習することができました。とても実りある一日となりました。